役場たより
発行　潟東村役場
印刷所　北洋印刷株式会社

四月のメモより

一、県道の補修改良工事

㈠五ノ上の県道の補修

地盤沈下の結果によると思わる、五ノ上味方境界附近の県道が沈下し、用水使用時期に県道を越水して、交通、農耕とも非常に迷惑を蒙むるので、地元よりその補修を強く要望されておりました処、今回県で早急に補修工事を実施することになりました故、どうぞ御安心下さい。

㈡大原水沢井随の県道改良工事

この三カ所の改良工事の内大原地内の県道は今回全部改良を終ることに決り、水沢、井随の県道の改良工事も近く継続工事として着手されることになりました。

二、農業構造改善委員会の発足

近年都市の工場化に伴って、農村の人口減少、都市人に比しての所得の低下等のため、農業の改造、改良の必要が叫ばれてきていることは、今迄も幾度か取り上げてきたのでありますが、私としては未だ適切な方法を見出しかねておりました。ただその基本として二本の柱を建てました。その一つは農業教育センターであり、他の一つは燕―新潟縦貫道路であります。幸いセンターは成功したことは誠に幸いでありますが、道路はまさに、その建設の運動中であります。

国では、農業基本法を制定してこれに対処すべく、補助、融資等によりこれを推進しております。即ち国は全国三千百市町村（工業地帯を除き）の凡てに行なうこととし、毎年三百市町村ずつ十カ年に亘って行なう予定であり、更に九十二カ所にパイロット地区を設け、模範的に構造改善をやる筈でありますので、村としても、その対策につき研究すべき時期に達したと存じます。

農業構造改善事業の事業計画は、地域の特殊性と住民の総意を生かして建てねばなりませんので、その責任は村長にあります。村長は農民、議会、農業委員会、農業協同組合、土地改良区等と協力して、その計画を建てねばなりません。

そこで私は村長の資問機関として委員会を作りました。委員をお願いいたした方々は各方面のベテラン（多年の経験を積んだ人）でございますので、安んじておまかせして差支ないと存じますが（委員名は別項）先づ委員各位から、充分このことにつき研究、調査を願い、その上、村民各位の意向を充分お聞ききの上、適切の案を作製して下さると存じ、去る三月二十八日創立委員会を開きました。

三、新農村協議会の解散

去る昭和三十四年に仮指定を受け、三十五年には本指定され、三十五年より三カ年の継続事業として、三十七年を以て終了いたしました。

その間農機具、農業会館、農業倉庫（事業内容は別項）等数々の有益の事業を補助、融資等により施行されました。その間委員各位並に担当役場職員の御労苦に対し深く感謝をいたします。

かくの如く協議会は所期の目的を十二分に果たしましたので、去る三月二十八日を以って解散いたしました。

私が十二分と申します訳は、その一端として国の狙った事業費は一市町村平均一千万円で補助金は大凡そ四百万円と予定されてありましたのに、私達の村はその規模が小さいにも拘わらず、事業費は二千九百三十五万円、補助金は五百二十八万円という多額を認められたことでもおわかりと存じます。

四、消防演習

去る四月五日、五ノ上グラウンドに、本年度春季消防演習を実施いたしました。装備は時代の進運と実演の結果に基ずいて、水道の消火栓の充実と可搬式ポンプの導入にありとの結論に達しましたので、三十六年七年に亘り、大原地区と五ノ上に消火栓を充分に設置し（外に島方校舎用として島方に一カ所）可搬式ポンプは四ツ合地区に八台、今井、大原に各一台計十台を導入いたしました。望むらくは番堂、茨島、横戸へ各一台計三台を導入すれば完備する訳であります。

また他町村では青年の離村者が多く消防団の弱化の歎きを聞く折にもかかわらず、本村はその歎き無く優秀なる団員を以て団を組織していることは誠にあり難いことであります。

この装備と、この団員をもっての演習でしたので好成積であることは当然で、巻警察署長さん、郡の消防支会長の小林さんの祝詞に大変褒められて面目をほどこされました。

なお今回団長毛島一郎さんに対し全国消防協会長大野伴睦さんから「精績章」が授与せられましたこのことは全氏の名誉のみでなくわが消防団の名誉でもあります。

五、自家用ガス規制

自家用ガスが地盤沈下の原因とする考えが支配的となってきましたので、昭和三十八年度予算内示に当り大蔵省より、次の条件を付され、予算執行前に講ぜねばならなくなりました。

その内示条件は

白根郷補助率は、次のとおりの条件のものに六〇％にもどす。

イ有効な自家用ガス規制策が実施されるまで予算執行を保留するであります。

ことここに至っては止むなく、規制の必要を生じましたので、白根、味方、潟東、月潟の各市村の長、土地改良区理事長並に県と会議を重ねたる上、去る四月八日大体次のことに意見の一致を見ましたので、近く県の本部会を開き正式に決定することになりました。（その期日は四月二十二日と予定されましたが延期になりましたので、期日は未定です。）

その申合わせ内容は

イ規制は市、村の条令で定める

ロ規制地域を三階級とし、年間の沈下量が一〇〇ミリ以上をA地区、五〇ミリ以上をB地区、五〇ミリ以下をC地区とする。

ハ西蒲原に於ては

A地区　味方村

B地区　月潟村、旧四ツ合村

C地区　旧大原村

ニ三地区とも新らたにガス井戸を掘らない。

ホA地区は至急都市ガス（構造性ガス）の導入の計画をたてる。

へBとC地区はAの実施の結果に基ずいて案をたてる。

ト規制量はA地区は四〇％B地区は二五％とする。

チ県及び市、村に監視員を置く

リ実施時期は昭和三十八年七月一日とする。

以上でありますが、これには問題が多くありますので、本きまりまでには、なおいろいろの問題があります。紙面が狭いので省略いたしますが、村会議員、総代さんには詳細説明いたして置きましたので、不安の方はお聞き下さい。

六、お別れ

私の任期は五月十日までございますが、五月二日には、凡ての手続を終り新村長が就任できるそうですので、五月二日に退職するよう届出をいたしました。

それでこの「たより」がお手許に届くときは私は村長ではございません故「たより」もこれが最後でございます。

四年間よく私を支持して下さった議員各位、各種の委員各位、役場職員の皆さん、並に村民御一同様に深甚なる感謝の意を表します有り難うございました。（樋口）

選挙（選管）

四月十七日に行なわれました新潟県議会議員一般選挙の本村開票結果は次の通りでありました。

記

一、当日の有権者数　四、一六〇人
二、投票総数　三、六〇四票（投票率　八六、六三%）
三、有効投票　三、五七九票
四、無効投票　二五票
五、各候補者の得票数（届出順）

鈴木　太吉	三一六票
岡田　幸平	一、〇六七票
山崎　直栄	一、二八九票
笛木甚一郎	五五三票
小林　静夫	三五四票

◎西蒲原土地改良区総代の任期満了による総選挙は下記により行なわれます。

記

○投票日　5月10日
（投票時間午前7時より午後4時まで　開票時間午後5時）

選挙区名	区域	総代数	選挙長	選挙長事務取扱場所	投票所
第20選挙区	旧大原村	4	大関耐介	土改大原出張所	土改大原出張所
第22選挙区	旧四ッ合村	7	岡本卯之一	土改四ッ合出張所	土改四ッ合出張所

農業臨時雇日誌について

農業所得を算定するときに、臨時雇（日雇）に支払った事実確認の資料として、日誌を整備しておくように機会ある毎に指導をしてきました。今年も必ず記帳して農業所得申告に備えると共に経営の合理化にも役立たせて下さい。

〔日誌の様式〕　農業臨時雇日誌

経営者氏名＿＿＿＿＿＿

雇入月日	被傭者		作業名	支給額		支払の覚え
	部落名	氏名		賃金	賄	
				円	食	

記載上の注意
○雑記帳等で適宜作成のこと。
○被傭者は誰々外何人としないで，毎日個人毎に書くこと。但し田植等１日で他町村より多人数を雇入れる場合は，誰々外何人と書いてもよい。その場合支給額には合計金額を記入し，支払の覚えには男女別の人数と１人当の賃金及賄を記入すること。
○作業名は畦塗り，田植，除草，はざ作り，稲刈等具体的に書くこと。
○支払の覚えには賃金を支払つた月日のほか金銭以外で支払つたときの内容等を書くこと。
○ゆいや他家からの手伝いは支給額及び支払の覚えの欄は斜線を引くこと。
◎農業所得申告の際必ず提示していただきます。

五月の納税について

昭和三十八年度固定資産税第一期の納期限は五月二十日限りです。各大字の徴収日にはお忘れなく完納して下さい。

税務課

人事往来

食糧事務所四ツ合出張所人事移動

新任　農林技官　田辺　弘
〃　〃　岩崎　恒夫
転任　農林技官　小林　高治　六分出張所へ
〃　中村　辰男　巻出張所へ

巻警察署横戸駐在所人事移動

新任　新潟県巡査　岩田　昭英
転任　新潟県巡査　二瓶　留吉　曽根駐在所へ

村内小中学校教員異動

東小学校　一名増員
転任
小林勇治郎校長　分水町国上小校長へ
渡辺　隆子先生　糸魚川市小滝小へ
新任
白井　晶校長　北蒲中条町十二天小教頭より
中野　トシ先生　栃尾市森上小より
坂井　和子先生　月潟村西小より

西小学校　一名減員
退職
加藤午之助先生
転任
植村　脩先生　巻小学校へ
佐々木素夫先生　味方小学校へ
三田村邦雄先生　東蒲三川村綱木小へ
坂口　忠良先生　直江津高校へ
新任
片野　栄先生　漆山小学校より
大倉　繁宏先生　巻小学校より
相馬　勇先生　北海道富良野村立金山小より
古沢　和栄先生　新規採用

南小学校　一名減員
転任
土田　保校長　分水町島上小校長へ
大平佐四郎教頭　西川町鎧郷小教頭へ
石山　フサ先生　漆山小へ
宇佐美勝雄先生　吉田町分水町組合立四箇村小へ
新任
長谷川庄三校長　燕市小池小校長より
棚橋　孝介教頭　新潟市内野中より
林　クラ先生　漆山小より

潟東中学校　一名減員
転任
佐野　宏作先生　栃尾市半蔵金中へ
田村美和子先生　古志郡山古志中へ
新任
宮田　邦子先生　新規採用

泥棒のかせぎどき

農繁期を狙う空巣狙い激増
鍵はどんなに大きくとも大きすぎることはない。
お互いに注意いたしましょう。

所得状況届の提出について

厚生課

国民年金も三十四年の福祉年金の発足以来五年目を迎えました。

発足当時満七十才以上の方々だけでしたが、以後昭和三十六年四月一日から拠出制（保険料を納める）の年金が開始され、満二十才以上五十才迄の方は他の年金制度へ加入してない方は皆加入しなければならないことになったわけです。昭和三十六年四月一日現在で満五十才を超える方は、満七十才になると福祉年金をもらえるので昨年の十月から法の一部改正により、今度公的年金をもらって居られる方も普通恩給等で二万四千円以内であればそれと福祉年金の差額がもらえるようになったし、又戦争公務の年金給付であれば七万円と福祉年金の差額がもらえるようになり、すでに御通知申上げ手続きをすまして受給して居られる人も多くあります。

現在本村で老令福祉年金を受けて居られる方は二四四人で、障害年金受給者が十九名、母子年金を受けて居られる方が十名で、児童扶養手当を受けて居られる方六名で、これを年間に致しましてざっと二六一万円という多額の金が村へ入って居る事となります。

それで老令、障害、母子、児童手当等もらって居られる方は、五月六日の支給を受けられたら毎年役場へ証書を出していただいて所得状況届をする事となって居りますから、今年も又五月六日以後年金をもらったらすぐ認印持参の上役場へ届出て下さい。この届をされないと三十八年度の年金がもらわれませんから早めに御出し下さい。

潟東村民のゆくえ

経済土木課

潟東村の人口は推計によると、今年一月一日現在で七、二三一人となり、昭和三十五年十月一日調査の国勢調査人口は七、四八七人でありましたので約二ヶ年間に二五六人少なくなったことになります。

そこで昨年一ヶ年間の転出状況を転出先市町村別に集計してみますと別表のようになります。

県外転出では関東地方が最も多く、なかでも東京都へ七一人と全体の四〇%となっており、大都市へ集中していることがはっきりいたしております。

県外				県内			
都道府県名	男	女	総数	市町村名	男	女	総数
北海道	1		1	新潟市	18	26	44
埼玉県	5	4	9	白根市	3	15	18
千葉県	4	3	7	新発田市	5		5
東京都	40	31	71	燕市	5	3	8
神奈川県	27	17	10	巻町	5	7	12
静岡県	4	2	6	西川町	4	13	17
愛知県	7	2	9	中之口村	5	6	11
大阪府	4		4	下田村	1	4	5
兵庫県	2	1	3	味方村	3		3
富山県	3		3	黒埼村	1	2	3
				その他	6	12	18
計	87	54	141	計	56	88	144

県内転出はやはり県都、新潟市に多く転出いたしていることがわかります。

昨年一ヶ年間の転入者は一三四人ですので、転出者の五〇%の人口が減ったと推定されます。

農業近代化資金について

経済土木課

昭和三十七年度農業近代化資金借入申請五九件の承認、不承認別状況は、別紙一覧表のとおりであります。

昭和三十八年度農業近代化資金等事務処理要領により、借入申請の時期が決定になりました。

借入申請時期
第一期　四月十日
第二期　六月十日
第三期　八月十日
第四期　十一月十日
第五期　一月二十日

借入申込書は、農家から農協へ提出することになっております。

借入申込書及び事業計画書は農協に準備してありますから、くわしいことについては農協又は役場の経済土木課にお問合せ下さい。

農業近代化資金承認申請
資金別、承認、不承認別一覧表

区分			事業費	貸付金	件数	備考
	借入申請		22,911,095円	17,046,090円	59件	
内訳	承認分	1号資金	11,381,787	8,107,000	22	農畜舎等
		2号資金	6,099,514	4,674,000	21	機械等
		セット資金	1,470,245	1,155,000	2	
		小計	18,951,546	13,936,000	45	
	不承認分	1号資金	765,422	577,000	2	
		2号資金	2,309,800	1,827,000	11	
		セット資金	884,327	706,000	1	
		小計	3,959,549	3,110,000	14	

農業構造改善事業推進委員会の発足

経済土木課

農業構造改善事業を推進するため、推進委員を委嘱し、三月十三日第一回の委員会を開催し発足いたしました。

委員氏名は左表のとおりであります。

推進委員会名簿

助役	青木　環
村議会議長	小林市三郎
同副議長	西村　信吾
同産業土木委員長	飯島嘉一郎
農業委員会長	富井　実
同会長代理者	渡辺　寅平
大原農業協同組合長	島田忠三郎
同専務	荒木惣三郎
四ツ合農業協同組合長	南波　又蔵
同専務	山口　一
土地改良区大原出張所長	田村　高作
同四ツ合出張所長	高野六太郎
農業改良クラブ連盟会長	星野　五郎
大原農業協同組合青年部長	笠巻　健一
四ツ合農業協同組合青年部長	青木　高治
青年団長	大久保　昇
婦人会長	中山　テイ
曽根地区農業改良普及所長	中川　文男
学識経験者	吉田　仙一
	斎藤　忠治
共済組合長	増井　増平

農山漁村建設総合対策実施特別助成事業実績一覧表

助成区分	年度	事業種目	事業主体	受益戸数	事業量	事業費	国庫補助額	公庫融資額
補助事業	昭和35年度	小規模土地改良事業区画整理	西蒲原土地改良区	戸 36	9.42町	千円 1.660	千円 490	千円 930
		共同利用農機具動力噴霧機	大原農協	371	10台	1,390	695	
		共同利用農機具動力噴霧機	四ツ合農協	653	4台	484	242	
		共同利用農機具飼料刈取機	大原農協	371	1台	75	37	
		計				3.609	1.464	930
	昭和36年度	共同利用農機具飼料刈取機	四ツ合農協	676	2台	150	57	
		青年研修所	潟東村	1.054	1棟443m研修器材一式	5,624	2,040	
		飼料調整施設	大原農協	378	一式	242	91	
		共同畜衛施設	四ツ合農協	676	1棟3.56m²畜衛器一基	203	77	
		計				6,219	2,265	
	昭和37年度	共同利用農機具トラクター	大原農協	378	2台	4,478	1,560	
		計				4,478	1,560	
融資単独事業	昭和35年度	農業倉庫	大原農協	148	1棟　122.5坪	7,643		5,980
		農業倉庫	大原農協	143	1棟　122.5坪	7,401		5,980
		計				15,044		11,960
合計						29,350	5,289	12,890

新農村建設事業が終了しました

経済土木課

昭和三十五年度より三年間実施されました。農山漁村振興特別助成事業は、昭和三十七年度で終了いたしました。

三年間の事業実績は、表のとおりであります。

けしの花に注意しましょう

(1)植えて悪いけし

大きくなると、一メートル以上になり、茎は太く、しっかりしていて毛のないものが多い。葉は、だ円形、または心臓形で切れこみが少なく葉や茎は乳白色を帯び、その葉のつけ根が茎を抱きこむようについている。花が落ちてからの実が丸く、大きくなり、ツルツルしている。なお花には「ひなげし」と同じ一重四重のもの、ボタン咲き、カーネーション咲きという八重のものもあるので、花だけでは区別がつけられない場合がある。

(2)植えてよいけし

ひなげし〜おにげし〜あざみげしなどで葉が細長く、葉全体がギザギザとなってしかもこの切り込みが深い。なお茎にはやわらかなトゲのようなものがたくさんついている。

以上のように、植えて悪いけしと、植えてよいけしの区別方法を述べましたが、実物と相違していることもありますので、もしも区別がはっきりつかないような時には駐在所、派出所または本署へ電話でも結構ですから届けてください。早速、係員がお伺いします。

"はじめまして"

文字通り蒲原平野の真只中にある、この赤い屋根の庁舎に私が赴任して参りましたのは、ついこの間の四月一日のことでした。

新しい仕事に対する期待と不安で胸をいっぱいにしながら、役場までの曲り道を一歩一歩、歩いて行った第一日目のことが、まるで昨日のことのように思えるほど、まだ、なにもかも新鮮です。

入山さんの後任ということで勤務させていただくことになった私ではありますが、保健婦の資格こそあれ、経験も浅く、何かと至らぬ点も多いことと思いますが、どうか、よろしく御指導下さいませ。私も及ばずながらベストを尽してやってみたいと思っております。

年度始めの四月は、どこの職場でも忙しいものだそうですが、四月の早々から乳幼児検診、三才児検診、生ワク投与、レントゲン検診と、仕事は盛りたくさんで、保健婦一年生の私など嬉しい悲鳴をあげていますが、大先輩の中川さんもいらっしゃいますし、他の役場職員の方々も皆よい人ばかりですので、毎日を楽しく過させていただいております。

丸くて小さい私の顔は、我ながら如何にひいきめに見ても保健婦としての最少限度の貫禄(?)を抱いているようで、目下、職業上のコンプレックスにとりつかれて困っております。

逃れる方法は、「仕事に対する自信を持つ。その為には、一に勉強、二にも勉強。」ということまでわかっているのですが、まだまだ逃れられずにおります。

(保健婦　小林文子)

北陸地方三か月予報

(五月〜七月)

全般概況

五月は例年にくらべ、わりあい変動が大きく、天候はくずれやすい見込みです。六月は前半比較的晴れ間が多い見込みですが、六月下旬から七月前半にかけて一時大雨の降る所がありましょう。又、七月なかば以後はおおむね夏型の天候に向う見込みです。

五月概況

この期間はくずれ易い天候が続く見込みです。又大陸のつめたい高気圧が発達し一〜二回本邦付近を通る見込みで、この際霜のおりる所があるかも知れません。月の平均気温は平年並か多少低目、降水量は平年並又日照は少な目の見込みです。

六月概況

本邦付近に梅雨前線が停滞しますが、北陸では比較的晴れ間が多いでしょう。しかし後半は時々曇雨天の日がありましょう。気温は後半に低目となりますが、平均では平年並、降水量は下旬頃所により大雨のおそれもありますが、月を通じては平年並又、日照も平年並の見込みです。

七月概況

前半は梅雨前線の影響で所により大雨のおそれがありますが、月なかば以後はおおむね夏型の天候に向いましょう。気温は前半一時低目となることもありますが、大体平年並、後半は高目の見込みです。又降水量と日照は平年並の見込みです。なおこの月、本邦付近に影響を与える台風が一〜二個ありそうです。